

いざというときの備えに

<<< 防災訓練で培う心構え >>>

阪神・淡路大震災から今年で丸10年が経ちましたが、昨年10月に起きた新潟県中越地震や台風22号・23号など、災害は突然襲ってきます。いざというときのためには普段から災害に備えることが必要です。避難場所や避難経路、連絡方法の確認等の家族での話し合いや、水や食糧を備蓄することはもちろんのこと、防災訓練に参加して、災害時にすばやく的確な行動が取れるようにしておくことが大切です。

地震が発生したら、避難はどこへ・・・。

まずは「近くの安全な場所へ」

公園、空き地、学校などの広くて安全な場所へ避難しましょう。

「自宅が倒れたら小中学校」へ

自宅に戻れないときは、あらかじめ指定されている地域防災拠点である小中学校へ避難して下さい。情報、救援物資の配給などもこちらで行われております。

地域防災拠点とは・・・

地域防災拠点とは、住居が倒壊したりした場合に避難する場所です。鶴見区では29カ所の小・中学校が指定されています。このほかにも、横浜市では災害時の状況に合わせていくつかの避難場所を指定しています。災害発生直後に避難する「いっとき避難場所」、大災害などの発生時に避難する「広域避難場所」などがあります。

また、区役所で配布している「鶴見区防災マップ」では、避難場所をはじめとする防災情報や日頃の備えなどを紹介しています。

お問い合わせ...鶴見区役所庶務係 TEL 045-510-1653 / FAX 045-510-1889

裏面もご覧下さい

災害時に水を確保するために

災害時に備えて、3日分程度の飲み水や食糧などを備蓄することが大切です。また、鶴見区には、災害時に水を手に入れられるよう、緊急給水栓などが整備されています。区内では15カ所に設置されています。

緊急給水栓設置場所

矢向小学校・矢向中学校・市場公園・市場中学校・鶴見中学校・潮田中学校・下野谷小学校・汐入小学校・上末吉小学校・寺尾中学校・東台小学校・上の宮中学校・馬場小学校・生麦中学校・工水東寺尾配水池

緊急給水栓及び循環式地下貯水槽設置場所

末吉中学校・寺尾小学校・寛政中学校・生麦小学校

排水池

鶴見配水池

まずは、3日分を...

災害時に備えて、1人最低3日分(1日3リットルとして9リットル程度)の飲み水を、水の缶詰やポリタンクなどで備蓄しましょう。水道局では、水の缶詰(1缶350ml・50円)を販売しています。1ケース(24本入り)以上購入される場合は、有料で配達しています。

お問い合わせは...水道局鶴見営業所 TEL 045-521-3421 / FAX 045-504-4927

災害時には冷静に行動することが大事ですが、隣近所や地域が力を合わせて助け合うことも重要です。普段から地域全体で防災意識を高め、防災訓練などで協力体制を整えておきましょう。

おこのぎ八郎さんを支援する会

〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL 045-323-6000 FAX 045-323-2974

E-mail g00833shugiin.go.jp

HP <http://www.hachirou.com>